ステージ3

販 売

→過剰包装を自粛し、量り売り等を推進する
→優遇制度の導入により、マイバッグ運動を推進する
→使い捨て容器・食器の使用を抑制する
→エコマーク商品、リサイクル商品を販売する

ステージ4

排 出

→再利用の推進と分別排出を徹底する
→納入業者や再生資源業者へ引渡す
→水切りの徹底などによる生ごみの減量化を進める
→業務用生ごみ処理機を導入する

②Reuse【リユース】～物を繰り返し使う～

物を大切にしましょう！

古くなった、モデルが古く業務用には使えないなどの理由で、まだ使えるものを捨てていませんか。

- 古くても使えるものは、最後まで使いましょう。
- モデルが古く、業務用には使えないものも、個人では十分使える場合があります。リユース商品としての活用を考えましょう。
- 備品は、リスト等で使用状況を管理し、職場間で融通しあいましょう。
- 新品でなくてもよいものは、中古品を購入しましょう。

壊れたら、修理しましょう！

壊れても修理が可能なものがたくさんごみになっています。可能なものは、修理して再度使用しましょう。

- 備品等は、耐久性が高く、修理が容易な製品を選択して購入しましょう。
- 取扱説明書、保証書、修理依頼先リストなどは、大切に保管しましょう。

③Recycle【リサイクル】～再び資源として利用する～

リサイクルが容易な製品を利用しましょう！

同様の製品でも多種多様な素材でできたものがあります。製品購入時に、その素材に着目することがリサイクルの促進につながります。

- 複数の素材でできたものより、単一の素材でできた製品を購入・使用しましょう。
- リサイクルを意識した設計の製品を優先的に購入・使用しましょう。
- 特に、自社で大量に排出されるものは、リサイクルが容易なものを選び、メーカーなどと協力して独自のリサイクルルートを構築しましょう。

リサイクル商品を利用しましょう！

リサイクル製品の需要が少ないと製品化が進まず、技術力の向上も期待できません。また、積極的に利用することが、従業員・顧客の皆さんへのリサイクル意識の醸成にもつながります。環境・リサイクル関連マーク付の商品を利用しましょう。